

基本目標 A

「人」に あたたかい 富士見市

～少子・超高齢社会への対応～

- 本市がこれまでも重点施策として取り組んできた子育て支援の充実や健康づくりの推進は、人口の維持、持続可能なまちづくりの観点からも重要です。
- 出生数を維持させることや健康長寿の実現に向け、より一層の施策の充実が、今後必要です。
- このため、第2期総合戦略の方向性を維持し、あたたかい家庭を築き、人と人とのあたたかいつながりを持てるまちを、今後も目指すものとし、「人」にあたたかい富士見市を基本目標に掲げます。

数値目標	基準値	目標値
「この地域で今後も子育てをしていきたい」と回答した保護者の割合 (健やか親子 21 アンケート)	97.6% (R5)	99.0% (R12)
健康寿命	男性 17.93 年 女性 20.53 年 (R5)	男性 19.14 年 女性 21.75 年 (R12)

関連する SDG s ゴール



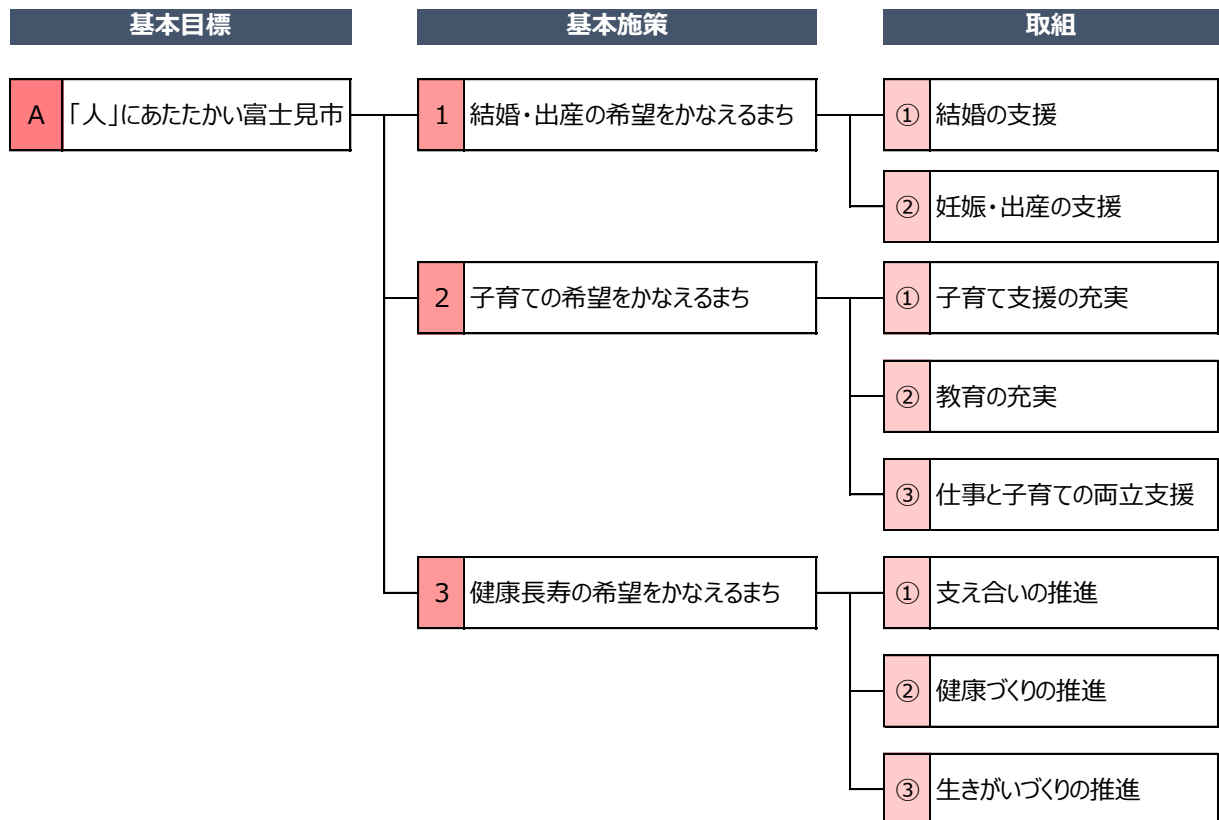
妊娠、出産への不安の軽減と子どもたちの健やかな成長を目指し、様々な支援に取り組めます。 関連ターゲット¹ (3-1、3-7)



主体的な学びを通じ、子どもたちの学習意欲を高めるとともに、高齢者の生きがいとなる、学習機会の充実に取り組めます。 関連ターゲット (4-1、4-3、4-6)

¹ 関連ターゲットの詳細については、環境省ホームページ (<http://www.env.go.jp/policy/sdgs/index.html>) をご参照ください。

【目標体系】



基本施策 1

結婚・出産の希望をかなえるまち

結婚・出産支援については、第 2 期総合戦略の方向性を維持するとともに、移住・定住の促進の観点を継続し、さらなる強化に向けて取り組みます。

KPI	基 準 値	目 標 値
出生数 (住民基本台帳)	803 人 (R5)	803 人 (R12)
20 代～30 代の社会増減数 ² (住民基本台帳)	448 人 (R5)	448 人 (R12)

取組①		結婚の支援	
取組の概要		これまでの出会いの場の創出の観点に、結婚生活への支援の観点を加え、結婚生活における不安の軽減などに取り組み、移住・定住を促進します。	
KSF	指 標	基準値	目標値
	結婚生活セミナー等の参加人数	14 人 (R6)	28 人 (R12)
具体的な取組事業		●結婚生活セミナー等の開催 ●結婚生活への支援 ●婚活への支援	

取組②		妊娠・出産の支援	
取組の概要		保健師による面談などを継続するとともに、産前・産後ケアの充実に取り組み、安心して産み育てられる環境整備を推進します。	
KSF	指 標	基準値	目標値
	産後ケアの利用件数	180 件 (R6)	220 件 (R12)
具体的な取組事業		●不妊治療等の助成、妊娠に関する相談の充実 ●産前・産後サポート事業の推進 ●産後ケア事業の拡充 ●妊娠・出産・子育て等の情報提供の充実	

²転入と転出による人口の増減のこと。「+」は社会増を表し、「△」は社会減を表す。

基本施策 2

子育ての希望をかなえるまち

これまで取り組んできた子育て支援の充実、移住・定住促進につながるものとして、今後も継続的に取り組みます。

KPI	基準値	目標値
保育サービスなどの充実に対する 満足度（市民意識調査） ※中学生までの子どものいる方で抽出	57.7%（R6）	62.7%（R12）
子育て支援環境の充実に対する 満足度（市民意識調査） ※中学生までの子どものいる方で抽出	69.4%（R6）	74.4%（R12）

取組①		子育て支援の充実	
取組の概要		情報提供の充実や相談体制の強化により、子育てにおける孤立を防ぐとともに、医療費の助成など、経済支援を継続的に実施し、子育てにおける不安の解消を目指します。	
KSF	指標	基準値	目標値
	妊娠届提出者の子育て支援情報モバイルサイト「すくすくナビ ³ 」登録者数	1,964 件（R6）	3,500 件（R12）
具体的な取組事業		● 経済的支援（医療費助成など） ● 情報発信の充実（ガイドブック、ホームページ、SNS など） ● 情報共有の場の充実（コミュニケーション・悩みの共有） ● 子育て世帯の集いの場の充実 ● 子育て世代を支える相談体制の強化	

取組②		教育の充実	
取組の概要		教育力の向上に努め、主体的、対話的な深い学びや多様な学習・体験機会の提供を強化し、子育て世代に選ばれるまちを目指します。	
KSF	指標	基準値	目標値
	特色のある幼児教育に対する支援数	9 園（R7）	24 園（R12）
具体的な取組事業		● 特色のある幼児教育の推進 ● 自立的な子育て支援事業の実施 ● 子ども大学☆ふじみの実施 ● 子ども・若者の意見表明の機会の提供 ● STEM 教育の推進	

³ 妊娠から出産、子育てまでをフルサポートする母子手帳アプリ

取組③		仕事と子育ての両立支援	
取組の概要		安心して子育てできる環境を実現し、共働き世帯の増加などの社会変化に対応するため、 保育施設等の整備 を継続的に進め、仕事と子育ての両立を目指します。	
KSF	指 標	基準値	目標値
	保育所待機児童数	8 人 (R6)	待機児童数 0 人の早期達成 及びその継続
	放課後児童クラブ待機児童数	0 人 (R6)	継続 (R12)
具体的な取組事業		●保育施設・放課後児童クラブ等の整備 ●多様な保育環境の充実 ●子育てサポートの充実 (キャリアアップ支援、育児休業制度の周知、「埼玉県多様な働き方実践企業」⁴の認定を推進、男性育児休業の推進)	

⁴ 埼玉県が認定する、仕事と生活の両立を支援するため、多様で柔軟な働き方を実践している企業等

基本施策 3

健康長寿の希望をかなえるまち

健康長寿の実現に向けたこれまでの取組を継続するとともに、地域包括ケアシステム⁵の推進により、住み慣れた地域での継続的な暮らしの実現に向けて取り組みます。

KPI	基準値	目標値
社会（地域）活動への参加率	56.6%（R4）	66.6%（R12）

取組①		支え合いの推進	
取組の概要		人と人とのつながりを重視し、地域での支え合い（共助）を推進することで、住み慣れた地域での継続的な暮らしの実現を目指します。	
KSF	指標	基準値	目標値
	第2層協議体 ⁶ 数	3 団体（R6）	11 団体（R12）
具体的な取組事業		●生活支援コーディネーターの活動拡大 ●住民助け合いサービスの創設支援 ●高齢者見守りネットワーク⁷の普及・啓発 ●認知症サポーター⁸養成講座の開催 ●単身高齢者の見守り支援 ●重層的支援体制整備事業による包括的な地域づくりの推進	

⁵ 高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、医療・介護・介護予防・住まい・生活支援が一体的に提供されることを目指したもの

⁶ 協議体は、地域課題を協議するコミュニティのことで、第1層協議体はすでに市全域を対象として組織されている。第2層協議体とは、高齢者あんしん相談センターの日常生活圏域ごとに組織される。第3層協議体とは、第2層の中の小さなコミュニティで組織される。

⁷ 地域の中で、高齢者の方を気かけたり、見守ったりし、高齢者あんしん相談センター（地域包括支援センター）などにご連絡いただいてその高齢者の方を支援につなげていく仕組みのこと

⁸ 認知症に対する正しい知識と理解を持ち、地域で認知症の人やその家族に対してできる範囲で手助けする人

取組②		健康づくりの推進	
取組の概要		フレイル予防やふじみパワーアップ体操を中心に、健康長寿のための健康づくりを継続的に推進し、いつまでも活力のある生活を目指します。	
KSF	指 標	基準値	目標値
	健康講座の開催数、参加者数	44 回、1,432 人（R6）	50 回、1,500 人（R12）
具体的な取組事業		●フレイルチェック事業の実施 ●フレイルサポーターの支援 ●高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施の推進 ●パワーアップ体操クラブなど地域介護予防活動の支援 ●A L K O Oマイレージの実施 ●介護予防教室の実施 ●がん検診など各種検診の推進 ●健康教育・健康相談等の実施 ●各世代のスポーツ・レクリエーションの充実 ●eスポーツの実施	

取組③		生きがいづくりの推進	
取組の概要		学びや地域での活躍の機会を増やし、生きがいづくりを、継続的に推進することで、生き生きとした生活の継続を目指します。	
KSF	指 標	基準値	目標値
	ボランティア育成講座への参加者数	313 名（R5）	400 名（R12）
具体的な取組事業		●健康学習の充実 ●介護予防・フレイル予防に関する活動支援 ●多様化する高齢者学習の支援 ●地域福祉の推進とボランティアに関する学びの機会の充実	

基本目標 B

「暮らし」に やさしい 富士見市

～選ばれるまちとなるために～

- 人口は、社会増で推移しているものの、今後においても、転入者を増やし、転出者を抑制させ、人口減少に対応していく観点は重要で**す**。
- これまでの安全で安心な生活環境の整備や自然環境の保全などにさらに取り組むことで、まちの住みやすさを向上させ、継続的にまちの魅力を高めていくことで、「選ばれるまち」となることが必要で**す**。
- 基本的に、第 2 期総合戦略の方向性を維持し、心やすらぐ暮らし**ができる**まちづくりを行い、住みたい・住み続けたい・選ばれるまちを目指すものとし、「暮らし」にやさしい富士見市を基本目標に掲げます。

数値目標	基準値	目標値
「住み続けたい」と感じている方の割合（市民意識調査）	77.9% (R6)	83.1% (R12)
人口増減数 (事務処理年報（住民基本台帳）)	246 人 (R5)	374 人 (R8～R12 の累計の年平均)

関連する SDG s ゴール



安全で安心なまちづくりや移動利便性・買物利便性を高めることで、住み続けたいまちとなることを目指します。 関連ターゲット（11-1、11-2）



緑や湧水などの自然や様々な地域資源の活用を進め、本市の魅力を高めることに取り組みます。 関連ターゲット（8-9）

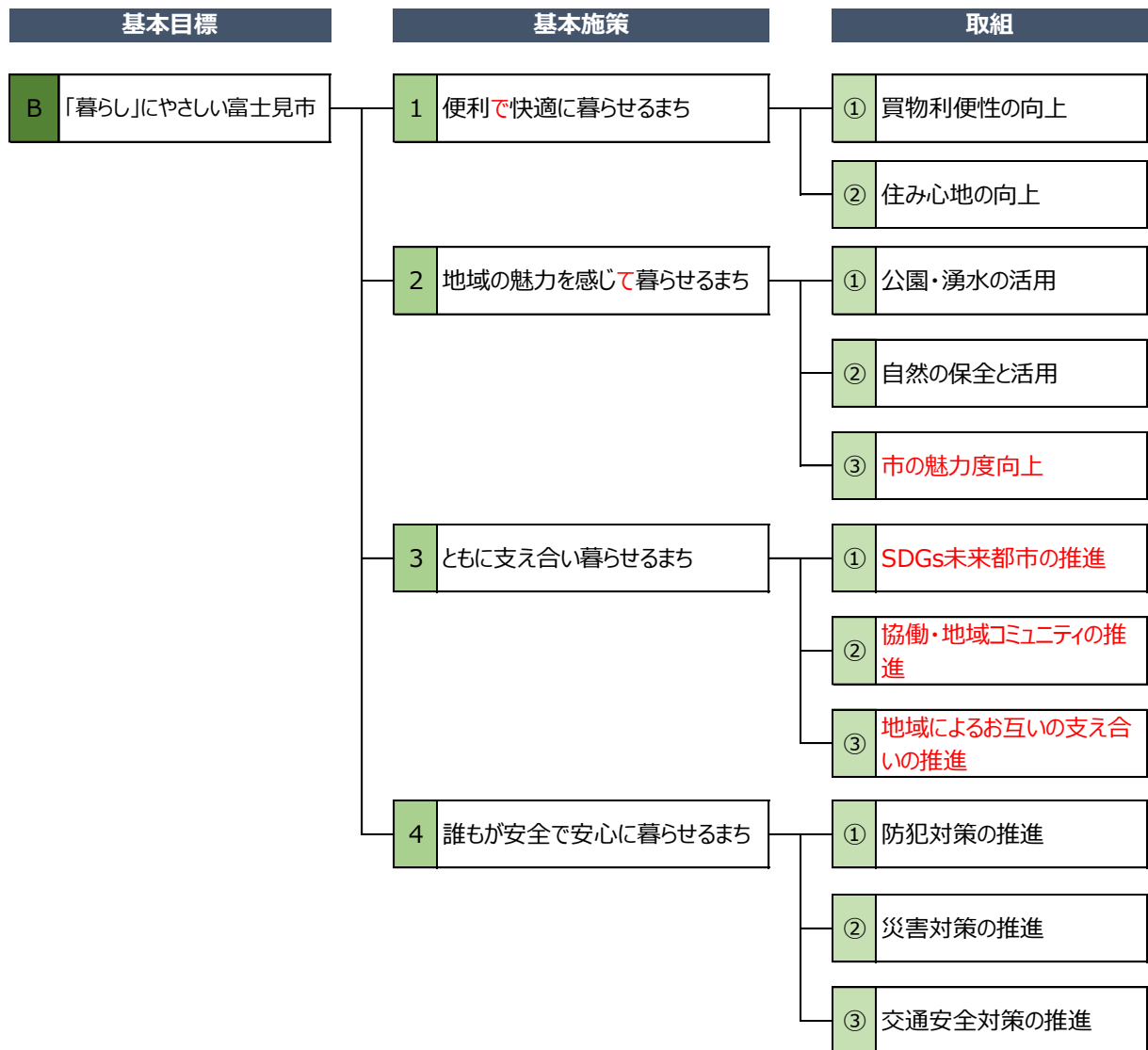


貴重な緑や湧水の保全、活用を進めるとともに、生物の多様性を保全し、自然と都市が調和した魅力あるまちづくりを進めます。 関連ターゲット（15-2）



家族同士のつながりや地域におけるつながりの強化に取り組み、共助によるまちづくりを進め、ともに支え合えるまちを目指します。 関連ターゲット（17-17）

【目標体系】



基本施策 1

便利で快適に暮らせるまち

便利で快適に暮らせるまちづくりを進めることで、住みたい・住み続けたいまちを目指し、日常生活における買物利便性の向上や住環境の向上に取り組みます。

KPI	基準値	目標値
市内消費活動に不便を感じていない人の割合（web アンケート）	57.8% (R6)	75.0% (R12)

取組①		買物利便性の向上	
取組の概要		移住・定住促進の観点から踏まえた買物の楽しさや利便性の向上に加え、高齢化などの影響を踏まえた買物弱者支援に新たに取り組む、住みやすいまちとなることを目指します。	
KSF	指 標	基準値	目標値
	買物支援策の実施事業数	3 事業 (R6)	3 事業以上 (R12)
具体的な取組事業		● 商店街等が行う買物弱者対策への支援 ● 商店街等が行う地域活性化事業への支援（地域版ふじみマーケット等） ● 個店情報の提供の充実	

取組②		住み心地の向上	
取組の概要		使いやすい地域公共交通の形成と鉄道駅利用者の利便性・安全性の向上、良好な住環境の形成や空家・空き地対策など、住環境・生活環境の向上を図ります。	
KSF	指 標	基準値	目標値
	土地区画整理事業の完了	2 地区 (R2～R7)	3 地区 (R8～R12)
具体的な取組事業		● 市内循環バス・デマンドタクシーの見直し ● 新たな公共交通システムの検討及び地域公共交通計画策定の検討 ● 空家・空き地対策（空家・空き地の適正管理、空家の流通・利活用） ● 計画的な市街地整備（区画整理事業） ● 道路整備の推進（幹線道路、生活道路） ● 住まいに関する支援（リフォーム） ● 燃えないまちづくりの推進（建築物の耐震化支援、木造住宅密集市街地の改善）	

基本施策 2

地域の魅力を感じて暮らせるまち

湧水や緑など、豊かな自然環境も含め、市の地域資源の育成、創出に取り組みます。また、より多くの方に市外から訪れてもらえることを目指し、市の認知度向上に向け取り組みます。

KPI	基準値	目標値
公式 Instagram フォロワー数	2,185 人 (R7)	5,000 人 (R12)

取組①		公園・湧水の活用	
取組の概要		公園や湧水を本市の貴重な地域資源と捉え、その活用を進め、市の魅力向上を目指します。	
KSF	指標	基準値	目標値
	新たな湧水と緑の回廊整備箇所	—	3 箇所 (R12)
具体的な取組事業		● 湧水活用拠点をつなぐルートの整備 ● 大御庵の杜保全・活用 ● 公園用地の確保 ● びん沼自然公園、水子貝塚公園や難波田城公園等、特色ある公園の活用	

取組②		自然の保全と活用	
取組の概要		市民緑地等の保全と緑の創出に継続して取り組むとともに、生物多様性の保全にも努め、本市の貴重な地域資源を活用していくことで、さらなる市の魅力の向上を目指します。	
KSF	指標	基準値	目標値
	市内の緑地面積	290,931 m ² (R6)	維持 (R12)
具体的な取組事業		● 市民緑地・緑の散歩道の保全・活用 ● 保存樹林・保存樹木に対する助成 ● 優良な農地の保全 ● 企業への緑化促進 ● 生物多様性の保存	

取組③		市の魅力度向上	
取組の概要		物だけに限らず、人材やスキルなどの地域資源の発掘と育成に努め、市の魅力向上に取り組めます。	
KSF	指 標	基準値	目標値
	地域活性化研究会や市民等との連携数	3 件（R5）	30 件（R8～R12 累計）
具体的な取組事業		● 地域資源の活用や新しい資源の発掘 ● 市の統一したまちのイメージ（地域ブランド、ロゴ）の作成・活用の実施の検討 ● 地域活性化研究会や市民等と連携した市の取組の検討	

基本施策 3

ともに支え合い暮らせるまち

今後の人口構成や社会情勢の変化にも対応できるまちとなるよう、人と人とのつながりを重視し、ともに支え合う仕組みづくりに取り組みます。

KPI	基準値	目標値
地域活動への参加状況 (市民意識調査)	52.3% (R6)	61.0% (R12)

取組①		SDGs 未来都市の推進	
取組の概要		市民・企業・金融機関・教育機関等のステークホルダーとの連携を図り、ともに地域課題の解決につながる、自律的取組を共創することにより、持続可能性なまちづくりを推進します。	
KSF	指標	基準値	目標値
	価値共創プラットフォーム『SDGs フジミライテラス』において市が主導して取り扱った課題数	－ (R7)	1 件/年 (R12)
具体的な取組事業		● SDG s 教育の推進 ● 価値共創プラットフォーム『SDGs フジミライテラス』の運営	

取組②		協働・地域コミュニティの推進	
取組の概要		「地域まちづくり協議会」の組織化や、地域の中心的役割を担う「町会」の活性化を促進し、地域の自主性や自立性を高めるとともに、行政と市民との連携を深め、市一丸となったまちづくりの推進に継続して取り組みます。	
KSF	指標	基準値	目標値
	地域まちづくり協議会の設立	8 団体 (R7)	11 団体 (R12)
具体的な取組事業		● 町会への加入促進 ● 町会の負担軽減のための DX 化の検討 ● 地域まちづくり協議会設立の支援 ● 地域まちづくり協議会の活性化支援 ● 協働事業提案制度の運用等の検討	

取組③		地域によるお互いの支え合いの推進	
取組の概要		高齢者や障がいのある方を含む誰もが安心して暮らせるよう、地域全体で支え合う仕組みづくりを進めるとともに、学校活動への地域参加など世代を超えた交流を促進します。	
KSF	指 標	基準値	目標値
	支え合い活動に取り組んでいる人の割合	新規（R7 調査予定）	R7 調査+5%（R12）
具体的な取組事業		● 学校応援団の活用 ● 住民助け合いサービスの創設支援 ● あいサポート運動の普及・啓発 ● 地域防災支援による共助とまちづくり担い手育成支援	

基本施策 4

安全で安心に暮らせるまち

誰もが安全で安心に暮らせるまちづくりを目指し、防犯や防災、交通安全対策に継続的に取り組みます。

KPI	基 準 値	目 標 値
市内犯罪率 (人口千人あたりの刑法犯認知件数)	7.7 件/年 (R5)	6.3 件/年 (R12)

取組①		防犯対策の推進	
取組の概要		自主防犯活動や防犯機器の設置など、防犯対策に継続して取り組み、自助、共助による防犯体制を強化することで、犯罪の起さない安全なまちを目指します。	
KSF	指 標	基準値	目標値
	自主防犯組織の結成率	100% (R7)	維持 (R12)
具体的な取組事業		● 防犯に関する広報・啓発活動の推進 ● 自主防犯活動の推進 (リーダーの養成) ● 防犯機器の普及と新規設置の検討	

取組②		災害対策の推進	
取組の概要		安全な生活を守るため、災害対策に継続して取り組み、防災意識を高揚させ、自身で守る自助と、地域全体でともに助け合う共助により災害対応力の向上を目指します。	
KSF	指 標	基準値	目標値
	自主防災組織率	89.0% (R7)	100% (R12)
具体的な取組事業		● 自主防災組織等の支援 ● 防災訓練の実施 ● 防災ガイドブックの見直し及び周知 ● 富士見防災リーダーの養成講座の実施 ● 燃えないまちづくりの推進	

取組③		交通安全対策の推進	
取組の概要		歩行空間の確保や段差の解消など、安全性の高い交通環境を整備するとともに、自動車や自転車、多様な交通需要に対応した交通事故の起きない安全なまちを目指します。	
KSF	指 標	基準値	目標値
	交通指導員の立哨箇所	32 ヶ所 (R7)	継続 (R12)
具体的な取組事業		●道路整備事業の推進 ●交通指導員の立哨 ●地域団体主催の交通安全教室の支援	

基本目標 C

「仕事」をつくる富士見市

～誰もが活躍し、活力をつくる～

- ベッドタウンとして発展してきた本市において、まちの活力を維持するためにも、市内経済を循環させることは重要です。
- 農業も含めた市内産業の発展や、雇用機会の確保に取り組むことで、市民所得を向上させていくことが必要です。
- 今後の生産年齢人口の減少を見据え、女性や高齢者などの就労機会の充実や、職住近接など働きやすい環境づくりに取り組み、誰もが活躍できるまちを目指すものとし、「仕事」をつくる富士見市を基本目標に掲げます。

数値目標	基準値	目標値
商工会の会員数	1,615 者 (R6)	1,640 者 (R12)
法人市民税額	600,086 千円 (R5)	696,142 千円 (R12)

関連する SDG s ゴール



誰もが活躍できる地域社会の形成を目指し、女性の活躍の推進に取り組みます。

関連ターゲット (5-c)



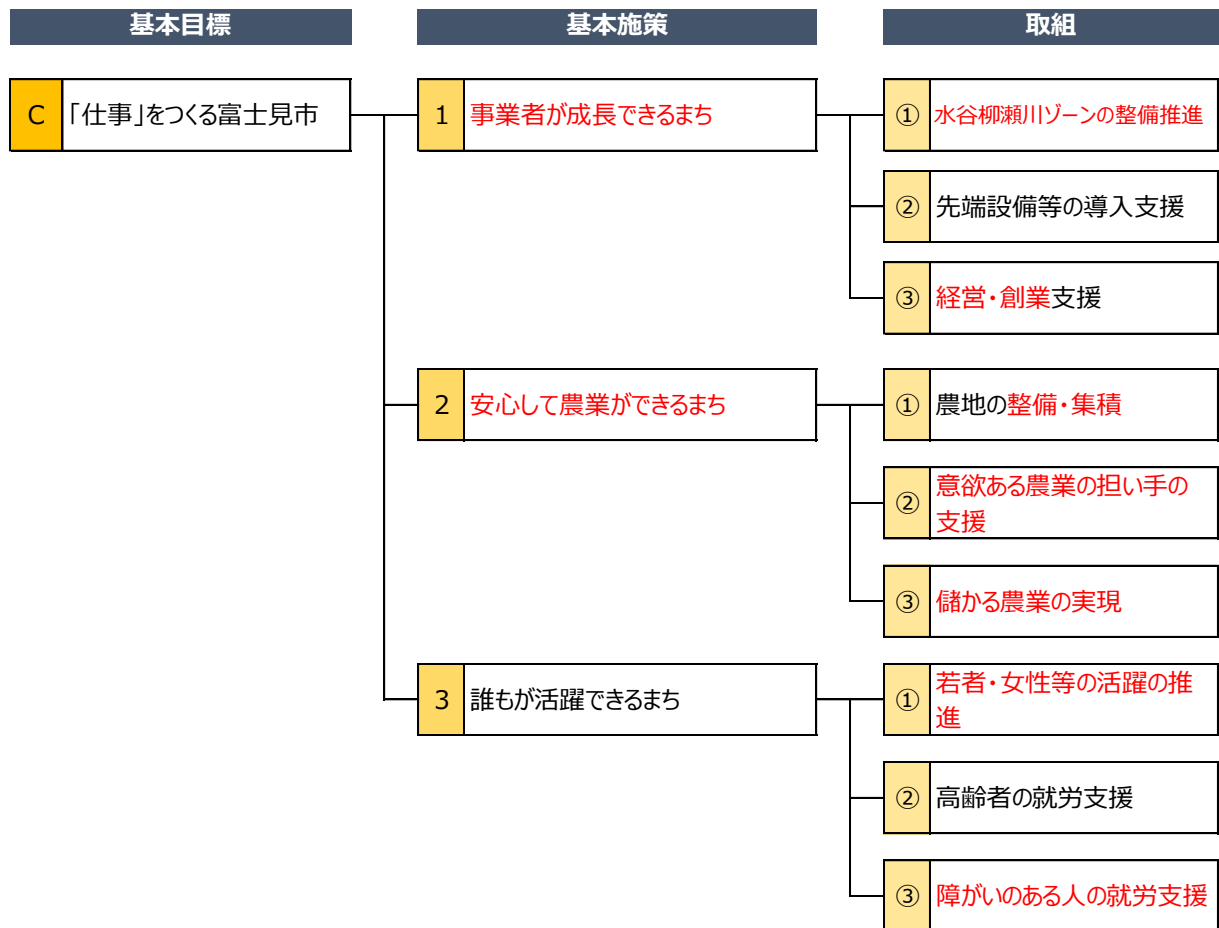
生産的な雇用や働きがいのある就労の促進などにより、誰もが活躍できるまちづくりを進めます。 関連ターゲット (8-5、8-8)



市内外における企業の連携を強化し、経営支援、創業支援など産業振興を進めることで、強い産業基盤の形成に取り組みます。

関連ターゲット (9-1、9-3、9-6)

【目標体系】



基本施策 1

事業者が成長できるまち

市内産業のさらなる活性化に向け、創業支援及び事業者の成長支援に取り組みます。

KPI	基準値	目標値
法人市民税納税義務者数	2,508 者 (R5)	2,708 者 (R12)

取組①		シティゾーン・水谷柳瀬川ゾーンの整備推進	
取組の概要		産業団地に進出する企業との官民連携の取組や、交通利便性の高い立地環境を活かした水谷柳瀬川ゾーンの整備を推進することで、就業の場の確保や産業の活性化を目指します。	
KSF	指標	基準値	目標値
	複合的な市街地の形成	0 地区 (R7)	1 地区 (R12)
具体的な取組事業		● 産業団地進出企業の開業までの支援 ● 産業団地進出企業との官民連携の取組 ● 水谷柳瀬川ゾーンの土地利用転換に係る研究・調査 ● 水谷柳瀬川ゾーンに関する県や地元協議会等との土地利用に係る協議	

取組②		先端設備等の導入支援	
取組の概要		さらなる産業の活性化を図るため、先端設備等の導入支援を行い、良好なモノづくりの環境整備を目指します。	
KSF	指標	基準値	目標値
	先端設備等の導入計画の認定数 (累計)	15 件 (R6)	20 件 (R12)
具体的な取組事業		● 富士見市中小企業チャレンジ支援事業¹の実施 ● 先端設備の導入などの支援 ● 中小企業経営強化法による支援	

¹ 産業振興基金を活用して市内中小企業者等が新たに取り組む事業に対して、その経費の一部を助成する事業

取組③		経営・創業支援	
取組の概要		既存の経営者や、創業を目指す人への支援を通じて、地域経済の活性化を図り、地域の活気を生み出します。	
KSF	指 標	基準値	目標値
	経営・創業相談事業による支援者数	26 人 (R6)	38 人 (R12)
具体的な取組事業		● 創業支援等事業計画の推進 ● 既存経営者・創業希望者に対する相談事業の実施 ● 富士見市中小企業チャレンジ支援事業の実施 ● 創業者支援補助金による支援	

基本施策 2

安心して農業ができるまち

生産地と消費地が近いといった利点を活かし、首都近郊農業としての維持と発展を目指し、農地の集積や担い手の確保、経営改善などに取り組みます。

KPI	基準値	目標値
担い手の農地集積率	24.1% (R6)	27.0% (R12)

取組①		農地の整備・集積	
取組の概要		農地の整備・集積を進め、将来にわたって安心して農業を継続できる環境を目指します。	
KSF	指標	基準値	目標値
	農地耕作条件改善事業 ² 調整地区数 (累計)	3地区 (R6)	4地区 (R12)
具体的な取組事業		● 農地耕作条件改善事業の実施 ● 農地中間管理事業の実施	

取組②		意欲ある農業の担い手の支援	
取組の概要		関係機関と連携し、認定農業者等の育成や多様な担い手の確保を推進し、継続的な農業経営の実現を目指します。	
KSF	指標	基準値	目標値
	認定農業者等事前相談実施件数	2件/年 (R6)	4件/年 (R12)
具体的な取組事業		● 認定農業者等チャレンジ支援事業の充実 ● 経営相談体制の充実 ● 農業用機械購入支援事業の実施	

² 区画拡大などを実施するとともに、高収益作物への転換に必要な取組をハードとソフトを組み合わせ一括支援する事業

取組③		儲かる農業の実現	
取組の概要		付加価値の向上や省力化などへの支援に取り組み、農業の経営改善を推進し、魅力ある農業を目指します。	
KSF	指 標	基準値	目標値
	RTK ³ 固定基地局の設置	0 基 (R6)	1 基 (R12)
具体的な取組事業		●スマート農業⁴の推進 ●付加価値向上及び反収増加に向けた対応方法の検討と支援の実施	

³ リアル タイム キネマティック の略。地上に設置した基地局からの位置データによって、高精度な測位が可能となる技術

⁴ ロボット、AI、IoT など先端技術を活用する農業

基本施策 3

誰もが活躍できるまち

誰もが活躍できるまちを目指し、多様な働き方の推進や、高齢者や外国籍市民も含め、持てる能力を発揮することができる環境づくりに取り組みます。

KPI	基準値	目標値
18歳以上の市民のうち、 稼働収入がある人の割合	65.8% (R6)	70.2% (R12)

取組①		若者・女性等の活躍の推進	
取組の概要		生産年齢人口の減少にあたり、労働生産性の向上を図るため、 若者・女性等の就労、企業の支援に取り組みます。	
KSF	指標	基準値	目標値
	埼玉県主催の女性向け就労 セミナー参加者数 新規学卒・若者就職面接会の 参加事業所数	15 人 (R6) 112 事業所 (R6)	25 人 (R12) 170 事業所 (R12)
具体的な取組事業		● 若者・女性等の就職・起業の支援 ● 男性育児休業取得の周知・啓発	

取組②		高齢者の就労支援	
取組の概要		高齢者の活躍の場を増やすとともに、雇い手と働き手のマッチング に取り組みます。また、シルバー人材センターとの連携を強化し、 労働生産性の維持に努めます。	
KSF	指標	基準値	目標値
	シルバー人材センターの会 員登録数	781 人 (R6)	900 人 (R12)
具体的な取組事業		● 地域における高齢者雇用に対する支援 ● 高齢者向け就労相談事業の実施 ● シルバー人材センターとの連携強化 ● 人手不足事業者と高齢者のマッチング事業	

取組③		障がいのある人の就労支援	
取組の概要		就労に関する相談及び助言、職場定着支援、事業所の開拓、離職後の調整、企業等との調整、日常生活面に関しての助言などにより、障がいのある人の就労機会を充実します。	
KSF	指 標	KSF	指 標
	富士見市障害者施策推進協議会の相談支援部会（就労チーム）の開催数	3 回/年（R6）	3 回以上/年（R12）
具体的な取組事業		● 障がい者就労支援センター事業の充実 ● 特別支援学校、支援学級への進路支援 ● 就労移行・継続・定着等支援事業の利用促進	